

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

2024年 6月 30日

大阪府知事 殿  
(大阪府泉州農と緑の総合事務所長 様)

提出者  
住 所 大阪府和泉市あゆみ野4丁目3-20  
氏 名 ナカザワ建販株式会社  
代表取締役 中澤 秀紀

電話番号 0725-30-3500

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	ナカザワ建販株式会社 本店
事業場の所在地	大阪府和泉市あゆみ野4丁目3-20
計画期間	2024年4月1日～2025年3月31日

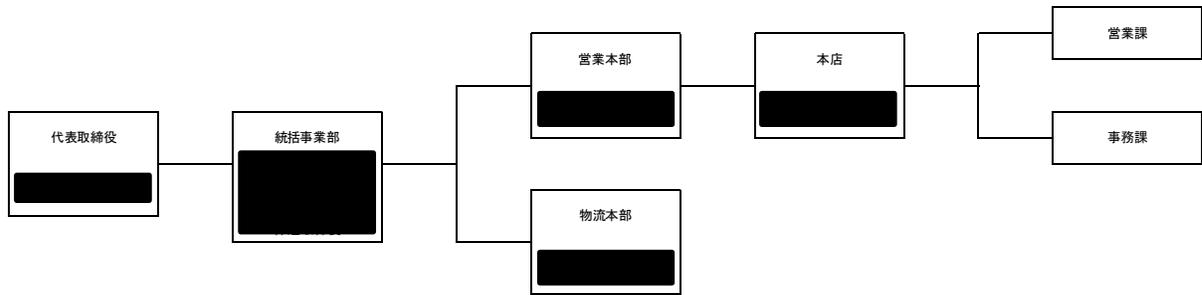
当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	53：建材料, 鉱物・金属材料等卸売業
②事業の規模	2023年度売上高：30,416百万円
③従業員数	70名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	<p>産業廃棄物発生工程フロー</p> <p>受注工程</p> <p>受注活動 → 受注獲得 → 材料発注 → 商品出荷 発注ミスで廃棄物発生 輸送時の破損により廃棄物発生</p> <p>加工工程</p> <p>材料入荷 → 材料保管 → 材料加工 → 商品出荷 保管時の破損により廃棄物発生 加工ミスで廃棄物発生 輸送時の破損により廃棄物発生</p>

(日本産業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（2023年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	管理型建設系混合廃棄物	ガラスくず等
	排出量	356 t	465.8 t
	(これまでに実施した取組) ・ 誤発注や余剰発注を減らし、廃棄量削減に努める ・ 取引先へ返品ができるように交渉を進める		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	管理型建設系混合廃棄物	ガラスくず等
	排出量	340 t	440 t
	(今後実施する予定の取組) ・ 誤発注や余剰発注を削減する為に、前工程でのチェックを強化する		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ 所定の保管場所へ保管する
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ 現状維持

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
【前年度（2023年度）実績】			
木くず	—	—	—
214.5 t	— t	— t	— t
【目標】			
木くず	—	—	—
200 t	— t	— t	— t

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（2023年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	管理型建設系混合廃棄物	ガラスくず等
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	管理型建設系混合廃棄物	ガラスくず等
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（2023年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	管理型建設系混合廃棄物	ガラスくず等
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	— t	— t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	管理型建設系混合廃棄物	ガラスくず等
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	— t	— t
(今後実施する予定の取組)			

## (第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（2023年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	管理型建設系混合廃棄物	ガラスくず等
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	－ t	－ t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	管理型建設系混合廃棄物	ガラスくず等
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	－ t	－ t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（2023年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	管理型建設系混合廃棄物	ガラスくず等
	全処理委託量	356 t	465.8 t
	優良認定処理業者への処理委託量	356 t	465.8 t
	再生利用業者への処理委託量	－ t	－ t
	認定熱回収業者への処理委託量	－ t	－ t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	－ t	－ t
(これまでに実施した取組)			
・ 廃棄物の分別強化			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
【前年度（2023年度）実績】			
木くず	—	—	—
— t	— t	— t	— t
【目標】			
木くず	—	—	—
— t	— t	— t	— t
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
【前年度（2023年度）実績】			
木くず	—	—	—
214.5 t	— t	— t	— t
214.5 t	— t	— t	— t
— t	— t	— t	— t
— t	— t	— t	— t
— t	— t	— t	— t

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	管理型建設系混合廃棄物	ガラスくず等
	全処理委託量	340 t	440 t
	優良認定処理業者への処理委託量	340 t	440 t
	再生利用業者への処理委託量	— t	— t
	認定熱回収業者への処理委託量	— t	— t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	— t	— t
(今後実施する予定の取組)			
・ 廃棄物の分別強化および再利用強化			
※事務処理欄			

【目標】			
木くず	—	—	—
200 t	— t	— t	— t
200 t	— t	— t	— t
— t	— t	— t	— t
— t	— t	— t	— t
— t	— t	— t	— t

